

来住地区地域づくり協議会広報紙 令和7年3月1日 第40号

こはくちょう

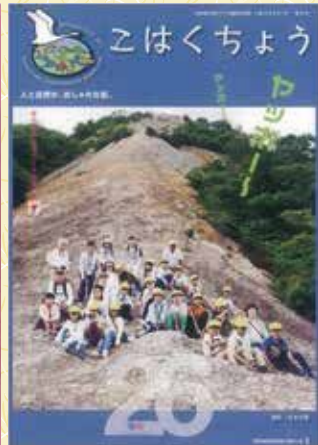
人と自然が、おしゃれな街。
<http://kishi-ono.sakura.ne.jp/>



来住地区地域づくり協議会

40

KOHAKUCHOU 2025/3



地域トピックス

200年以上の歴史をもつ氏神若一神社の神事

西脇若一神社獅子舞

代々使われてきた囃子太鼓に文化六年(1809)の年号があることから、遅くともこの頃には始まったとされている獅子舞。その起源や歴史、そして伝承する人々の思いを聞きました。

西脇若一神社獅子舞のはじまりとこれまでの歴史

氏神若一神社の神事として毎年10月第2日曜日に行われています。村の伝承では、江戸時代に村内に流行した疾病退散を祈願して奉納したものとされています。

また、隣村の加西市網引町に伝わる獅子舞は、明治20年(1887)に西脇町から習得されたものです。その他にも「昔は西脇の人は獅子を教えに遠く丹波や押部の方まで行っていた」と口伝えされていたという記録もあり、東播地方における獅子舞の草分けといえるほど歴史のある獅子舞です。

舞は、八州の舞、弊の舞、吉野掛の舞、ほら返しの舞、花遊びの舞、背継の舞、花掛の舞、攻獅子の舞、唄獅子の舞、勇獅子の舞、女形道中、剣の舞、谷渡りの舞の13種があります。五穀豊穡を祈念、あるいは悪魔が神に屈服する様を表現したものです。

この中でも圧巻な舞は、谷渡り舞です。2頭の獅子が左右から又状に組んだ高さ6メートルほどの梯子を舞い上がり、その上で入れ替わって反対側へと下ります。梯子の途中では、獅子が反り返るといった曲芸的な舞も加わり、神事の最後を飾るにふさわしいものです。

(小野市ホームページ・西脇町若一神社獅子舞保存会パンフレットより)



谷渡りの舞



唄獅子の舞



吉野掛の舞



伝統を継承する

平成14年4月1日に市の無形文化財に指定された獅子舞を伝承する**西脇町若一神社獅子舞保存会**。西脇町の有志により昭和49年に結成されました。

今回、会長の田中安則さんにお話を伺いました。



西脇町若一神社獅子舞保存会
会長 田中安則さん

●西脇町若一神社獅子舞保存会の活動や取り組み等を教えてください。

毎年、8月のお盆明けから練習を開始し、週2回練習を行い、当日(10月の第2日曜日)を迎えます。朝6時に若一神社で神事を行った後、災厄を払うために全戸を回ります。夕方6時から、西脇町グラウンドで13種の舞を披露します。また、昨年はきすみの祭や来住小学校学習発表会などで獅子舞を披露しました。

●伝統を守るための工夫や次世代に継承していくために、工夫などされていることはありますか。

現在会員数は36名いますが、20代1名、30代8名で、平均年齢が48歳と高くなっており若返りが必要です。そのために、子どもの頃から獅子に愛着を持ってもらうために地元の小学生と保育所の年中、年長園児の全員を対象とし、参加してもらっています。

●会長としての思いや、大切にしていること目指していることを教えてください。

西脇町獅子舞は、200年以上の歴史がありますが、昭和30年頃から20年間の中絶がありました。昨今では、女の子にも参加してもらい、二度と途絶えることなく地域のコミュニティの場として守っていきたいと思っています。地域の皆様のより一層のご支援、ご協力をお願いいたします。



西脇若一神社 秋祭り

例年10月第2日曜日
夕方から、西脇町グラ
ウンドで行われています。



きすみの祭

令和6年
10月26日(土)・27日(日)
コミセンきすみの



きすみの祭クイズ

平成29年きすみの祭が台風で中止となったが、1月に「新春！ぷちきすみの祭」を開催！〇〇つき大会と〇〇まきをして大盛り上がりしました。〇〇に入る言葉はなんでしょう。
答えは8ページ



カメラマン：木島 裕貴・長谷 将人・前田 英樹・木野花（敬称略）



来住地区地域づくり協議会 活動報告

副会長あいさつ

初めて来住地区地域づくり協議会の活動に参加し、今までこんなに多くの方が様々な部会で来住地区の為に活動されていたのさと驚きの連続でした。

4月の総会から始まり、10月のきすみの祭では、地域の方々のご協力、各種役員の皆様にご支援いただき笑顔あふれた祭を行う事が出来感謝申し上げます。

各部会活動も、スポーツ部会はアジャタ大会、ソフトバレーボール大会等の開催、安全部会は、危険箇所等の点検を行い安心安全に取り組み、環境部会は、春と秋の花いっぱい運動、コスモスの種まきを行い、秋にはSNS映えする「どこでもドア」と「バス停」がコスモス畑に登場しました。企画部会は歴史探足、きすみの祭等の実施、広報部会は「こはくちょう」の発行等と各々の活動を行いました。きすみの写真展にも多数のご応募をいただき感謝申し上げます。

来年度もきすみの地域が、より住みよくて繋がりの深い美しい街になるよう活動いたします。

今後とも、地域づくり協議会の活動に皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



河合 重和 藤尾 千秋 鳴美 享

ソフトバレーボール大会



きすみのの元気に~つけた!写真展



きすみの歴史探足(法道仙人ときすみの・黍田を知る)



地域安全活動・見守り隊



安全備品の設置



アジャタ大会



広報紙こはくちょう(第39号・第40号)



花いっぱい運動(春・秋)



キバナコスモス畑



つなやま

小野南中学校 校長 駒田 茂

小野南中学校は、校庭から日本一低い小野アルプスを望むことができ、秋から冬にかけては小野アルプスの山々が雲海に包まれる幻想的な景色が広がる自然豊かな地で、地域のみなさまの温かいサポートを受けながら、日々の教育活動を推進することができております。

小野南中学校区では、来住小、市場小とともに「ふるさとを愛し、世界に学び、未来を切りひらく児童生徒の育成～かしこく やさしく たくましく～」の共通目標を掲げ、小中一貫教育に取り組んでおります。9か年を見通したカリキュラムを実施し、小中ふれあいの日、9年生による小学校への出前授業、マラソン大会、6年生の1日入学、人権フェスティバル等の行事を通して両小学校との交流を深めております。

今後も、ふるさとを愛し、未来を切りひらく生徒の育成と地域に誇れる歌声響く学校づくりを目指して取り組んでまいりますので、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



来住地区地域づくり協議会の公募委員を募集します。

住民の交流と地域活性化のため、一緒に活動していただける公募委員を募集します。事務局（コミセンきすみの）までお問い合わせください。



きすみの祭クイズ答え

「もち（餅）」です。
みんな正解したかな～？



編集後記

広報部会では年2回発行している広報紙「こはくちょう」も今回で40号になります。これまでたくさんの情報をご提供いただき、ご協力いただきました皆様に感謝いたします。

この「こはくちょう」を読んで来住地区の魅力を見つかりたいだけだと嬉しいです。今回編集に関わらせていただきありがとうございました。

これからも来住地区地域づくり協議会をよろしく願いいたします。

松尾 信 浩

